

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

配布数12通/回答数9通/回答率75%

公表日：2021年1月31日

事業所名：放課後等デイサービス 明石ゆいゆい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令等に遵守したスペースを確保しております。	はい55.6% どちらともいえない22.2% いいえ11.1% わからない11.1%	限られたスペースではありますが、家具の配置などを考慮して、より広い活動スペースの確保に努めます。
	2 職員の適切な配置	法令で必要とされる職員数を配置しております。	はい77.8% どちらともいえない0% いいえ0% わからない22.2%	より細やかな個別支援ができるよう、さらに多くの職員配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	段差のあるところに簡易スロープを置くなどバリアフリーにしています。	はい66.7% どちらともいえない11.1% いいえ11.1% わからない11.1%	さらに特性に応じた設備整備に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃消毒などを行い、感染症予防を考えた生活空間を確保しています。	はい66.7% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない22.2%	清潔に、心地よく過ごせるよう生活空間確保に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日ミーティングや連絡報告を行い、振り返りをしています。		職員間のミーティングで、PDCAサイクルを意識しながら業務改善に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今は行っていません。		今後必要に応じて導入を検討してまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修に参加しています。		これからも積極的に研修参加に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に一度実施しています。		さらに、子どもや保護者のニーズや課題を分析し計画作成に努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	平日は個別活動、休業日は個別活動と小集団活動を行っています。	はい77.8% どちらともいえない22.2% いいえ0% わからない0%	平日にも、集団活動を行うよう努めます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援内容の記載を行っています。		さらに具体的な設定と支援内容の記載に努めます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適切な支援の実施を行っています。	はい88.9% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない0%	さらに、適切な支援の実施を行えるよう努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	担当者が決めて実施しています。		チームでのプログラム立案に努めます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個別活動、休業日は個別活動と小集団活動を行っています。	はい88.9% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない0%	子どものニーズに合わせて設定していくことに努めます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	特に平日は活動が固定化されていることが多いです。		職員間のミーティングで意見交換しながら、固定化しないよう努めます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	必ず職員間の打ち合わせを行うようにしています。		さらに確認の徹底に努めます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌日のミーティングで振り返りを行っています。		その日の振り返りと情報共有できるよう努めます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	一人一人必ずその日の記録をとり、改善につなげています。		さらに改善につなげていけるよう努めます。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度実施しています。		個別のニーズに合わせて見直しを行ってまいります。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	事業所の責任者等が対応しています。		積極的な参画を行っています。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	保護者を通じて、連携した支援の実施をおこなっています。		今後も、しっかりとした連携をおこなっていきます。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	すぐに連絡がとれるよう一覧表にまとめています。		急変などにすぐに対応できるよう努めます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	学校との連携を図り、連絡確認など行っているが、まだ十分とはいえません。		さらに、深く支援内容等の情報共有に努めます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	これまで該当者がおりません。今春該当者いるため、情報共有を行っていきたくです。		円滑な移行が行えるよう十分な情報提供を行っています。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携や積極的な研修受講を行っています。		専門機関が開催する研修には積極的に参加し、職員のスキルアップに努めています。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	平日の利用時間では、なかなか交流が難しく、休業日に、散歩などで地域の子どもと接する機会をつくっているが十分ではないと思います。	はい11.1% どちらともいえない22.2% いいえ0% わからない55.6% 回答なし11.1%	今後交流の機会を増やしていけるように努めていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方々との交流の事業の運営を企画しているが、コロナ禍でなかなか実施に至っていません。		積極的に地域に開かれた事業所となるよう努めていきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。	はい100% どちらともいえない0% いいえ0% わからない0%	契約時のみでは十分ではない説明は随時行っています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	提示したのち、質問や要望をお聞きしています。	はい66.7% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない22.2%	今後もわかりやすい説明に努めていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	連絡帳や電話による相談対応、個別相談を行っています。	はい33.3% どちらともいえない11.1% いいえ11.1% わからない44.4%	ペアレント・トレーニングの研修を受けるなど職員のスキルアップに努めます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	事業所での活動や様子を連絡帳に記入し、送迎時にも伝えています。	はい100% どちらともいえない0% いいえ0% わからない0%	送迎時以外にも、保護者と話す機会を増やしていけるよう努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	悩みや困りごとを相談受けた時、寄り添いながら傾聴や必要な助言を行っています。	はい55.6% どちらともいえない11.1% いいえ11.1% わからない22.2%	保護者の気持ちに寄り添いながら、よりよい対応ができるよう努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会などは、まだ開催したことがありません。	はい33.3% どちらともいえない11.1% いいえ11.1% わからない44.4%	今後検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	担当者を設置し、迅速に対応するようにしています。	はい55.6% どちらともいえない22.2% いいえ0% わからない22.2%	今後も迅速適切な対応に努めていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に合わせた伝達方法で情報提供を行っています。	はい100% どちらともいえない0% いいえ0% わからない0%	今後も配慮を行いながら情報提供を行うよう努めていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ホームページやSNSを活用し発信しています。	はい66.7% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない22.2%	定期的な会報の発行など検討していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類関係は鍵のかかるキャビネットで厳重に管理しています。	はい88.9% どちらともいえない0% いいえ0% わからない11.1%	今後も個人情報の取り扱いには厳重に注意していきます。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者への周知徹底が十分でなかったと思います。	はい66.7% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない22.2%	各マニュアルを、職員や保護者に周知徹底ができるよう努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	訓練の実施が十分に行えていませんでした。	はい33.3% どちらともいえない11.1% いいえ0% わからない55.6%	防災啓発活動や避難訓練を実施しています。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止研修の参加や、毎日のミーティング等でも虐待防止の意識の向上に努めています。		職員のスキルアップと意識の向上により、虐待防止に努めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束を行わなければならないケースはありません。		今後そのようなケースがあれば、しっかりと記録を残し、保護者様へ説明をいたします。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	対応しています。		今後も食物アレルギーのある子どもに対する適切な対応に努めます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	全職員が積極的に取り組み、事例検討などを行っています。		今後も事業所内での共有の徹底に努めます。